

産業建設常任委員会会議録

[平成23年 7月12日開催]

南あわじ市議会

産業建設常任委員会会議録

日 時 平成23年 7月12日
午前 9時00分 開会
午前11時23分 閉会
場 所 南あわじ市議会委員会室

1. 出席委員、欠席委員、事務局出席職員及び説明のために出席した者の職氏名

出席委員（6名）

委 員 長	廣 内 孝 次
副 委 員 長	原 口 育 大
委 員	印 部 久 信
委 員	砂 田 杲 洋
委 員	長 船 吉 博
委 員	森 上 祐 治
議 長	阿 部 計 一

欠席委員（なし）

事務局出席職員職氏名

事 務 局 長	高 川 欣 士
次 長	阿 閉 裕 美
課 長	垣 光 弘
書 記	川 添 卓 也

説明のために出席した者の職氏名

副 市 長	川 野 四 朗
産業振興部長	水 田 泰 善
産業振興部次長	興 津 良 祐
産業振興部商工観光課長	阿 部 員 久

参考人

(株) サンマックスプロジェクト
代表取締役
サンライズ淡路支配人

中 野 充 裕
小 西 一 寿

Ⅱ. 会議に付した事件

1. 「サイクリングターミナル」「サンライズ淡路」の運営状況について…………… 4

Ⅲ. 会議録

産業建設常任委員会

平成23年 7月12日(火)

(開会 午前 9時00分)

(閉会 午前11時23分)

○廣内孝次委員長 皆さん、おはようございます。

東日本大震災が起こり、きのうで4カ月を迎えました。連日の暑さの中、被災者はいまだに大変な状況に置かれております。今月19日、20日と視察に行きますが、いろいろな状況を勉強してきたいと思えます。

さて、本日は、先月、皆様方から要望のありました指定管理の現状について、参考人を呼んで調査を行いたいと思えます。

それでは、ただいまより産業建設常任委員会を開催いたします。

それでは、執行部、副市長、あいさつをお願いします。

副市長。

○副市長(川野四朗) おはようございます。

きょうは特に指定管理の運営の集中審議ということでございます。この指定管理につきましては、私どもの指導・監督が不行き届きであったということも率直に認めざるを得ないというふうに思っています。

今、担当部長が関係者の皆さん方といろいろとお話し合いをしておると思えますが、きちんとした形でこれからの指導をやっていかなければいけないと思えて、ここで皆さん方からいろいろ御意見を聞きながら、今後どのようにしていくかということも我々としては決めたいというふうに思っておりますので、どうかよろしくお願ひしたいと思えます。

梅雨が明けまして本格的な夏に入ってくるわけでございます。皆さん方も御承知のように、これから淡路の観光はどのようになっていくのか非常に状況は不安定ではございますけれども、北のほうには余り足が向かないのでかえって西のほうがよくなるんじゃないかというような淡い期待もある方もおられるわけでございますが、そのようになっていただければありがたいなという思いもいたしております。また、1,000円効果のものが今後どのようにしていくのかというふうなことも非常に我々としては関心のあるところでございます。祝日・日曜の割り引きもあるということをもっともっとPRをしながら、こちらのほうに足を向けていただく、また、この夏はやっぱりシーズンでございますので、このシーズンをうまく乗り切っていっていただければなというふうな思いをしながら、これから施策を反映していきたいと思っております。どうかよろしくお願ひしたいと思えます。

○廣内孝次委員長 ありがとうございます。

本日は、産業建設常任委員会においてサイクリングターミナル及びサンライズ淡路の運営状況についての調査を行うために、地方自治法第109条第6項の規定により、参考人として両施設の指定管理を受けている(株)サンマックスプロジェクトから代表取締役の中野充裕様とサンライズ淡路支配人の小西一寿様に出席を求めることに御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○廣内孝次委員長 異議がございませんので出席を求めることにいたします。

なお、その調査の方法について確認しておきたいと思います。

まず、参考人の質問中に執行部への質問は一応できないような形となっておりますので、参考人に質問して、それが終了後、執行部への質問をお願いいたします。

それと、皆様方も御存じのとおり、インターネット中継がされておりますので、両施設、サービス業でありますので営業に影響の出ないよう言葉に気をつけて質問をしていただきたいと思います。よろしく申し上げます。

それでは、暫時休憩いたします。

(休憩 午前 9時05分)

(再開 午前 9時06分)

○廣内孝次委員長 再開いたします。

なお、傍聴を許可しておりますが、傍聴される方は傍聴規則に準じて傍聴されるようお願いいたします。

参考人の発言については、南あわじ市議会委員会条例により定められております。まず質疑ですが、1、委員は参考人に対し質疑をすることができる。2、参考人は委員に対し質疑をすることができないとなっております。

質疑に対する参考人の発言・答弁では、1、参考人が発言しようとするときは委員長の許可を受けなければならない。2、参考人の発言は、その意見を聞こうとする案件の範囲を超えてはならない。3、参考人の発言がその範囲を超え、また、参考人に不穏当な言動があるときは、委員長は発言を制止し、または退席させることができるとなっておりますので、よろしく申し上げます。

まず、自己紹介をお願いします。

中野さん。

○参考人（中野充裕） （株）サンマックスプロジェクトの代表をしております中野と申します。どうぞよろしく願いいたします。

○廣内孝次委員長 小西さん。

○参考人（小西一寿） サンライズ淡路の小西と申します。よろしく願いいたします。

○廣内孝次委員長 参考人から資料を配付したいと申し出がありましたので、これを許可し配付いたします。

資料に関しましては、決算報告書は民間の会社でありますので会終了後回収したいという申し出がありますので、その点よろしく願い申し上げます。

それでは、最初に参考人のほうから平成22年度経営状況について説明をお願いします。まず、サイクリングターミナル、中野さんのほうからよろしく願いいたします。

○参考人（中野充裕） 座ったまま失礼させていただきます。

平成22年度サイクリングターミナルの状況でございますが、一昨年、平成21年度と比べまして収入の部で宿泊、それから会議、宴会ともに減員しております、収入の部では21年度を下回る結果となりました。22年度の収入に伴う、支出のほうでございますが、21年度と比較いたしまして若干ではあります、支出のほうを抑えられている状況でございます。結果的には1,400万円の赤字計上という形になっております。

その中で22年度の南あわじ市への使用料の支払いに関しまして、いまだ一部の入金しかできてないことをまことに申しわけなく思います。この23年度の中で前向きに、また営業活動、売り上げ増進活動を推進するために、収益を増加させる営業活動、計画を実施していくことにより、早期のうちに、平成23年度のうちにきっちりとお支払いさせていただきたいというふうな考え方でおります。

以上です。

○廣内孝次委員長 それでは、サンライズ淡路の小西さん、よろしく願いいたします。

○参考人（小西一寿） 平成22年度につきましては、金額をちょっと申すのもあれなんですけど、平成21年度を下回っております、いろんな原因が重なり収益が少なくなっているのが現実でございます、その中で特に宿泊部門が収入減になっております。

○廣内孝次委員長 それでは、ここからは委員の皆さんの意見を言っていただきます。何か質疑ございましたらお願いします。

印部委員。

○印部久信委員 まず委員長から総括的に聞いてもうた後、我々が出たらどないですか。

○廣内孝次委員長 それでは、一応会社の規模、それと従業員の数、それと先ほど一昨年度と昨年度の比較で減っているという話がありました。それらの原因としてどういことが考えられるか、その点についてお尋ねしたいと思います。

中野さん。

○参考人（中野充裕） まず、平成21年度と22年度との比較をしての原因ということでございます。

まず、サイクリングのほう、それからサンライズ淡路のほうともに団体の利用客、合宿等々の利用の減が目立ちました。1つは、水泳等々の大きな大会が毎年開催されている団体があるんですけども、それが毎年の開催ではなくなりました。1年置きになったというふうなこともありまして、昨年度、22年度は御利用がなかったとかというふうなこともございます。それと北陸への自動車の交通費等々の関係なんかで御家族連れのお客さまもやはり減ってきておりました。それだけが原因とも思われませんが、大きな要因と申しますか、そういったところが原因しているなというふうに感じました。

○廣内孝次委員長 会社の資本金とか規模ですね、従業員数とか。

中野さん。

○参考人（中野充裕） 規模につきまして、資本金が510万円の会社でございます。従業員数に関しまして、ゆずるは荘のほうで社員としては私1名でございます。あと臨時に雇用しております社員、それからアルバイト、パートの形で運営をさせていただいております。サンライズ淡路につきましては、社員が調理師4名、それからレストラン、宴会場部門で1名、それからフロントは支配人が勤めておりました。あとはアルバイト、パート、常勤及びシーズンの繁忙期だけ雇用しているというふうな状況でございます。延べ人数で申し上げますと、大体毎月のように変動はしているんですが、ゆずるは荘で約15名、サンライズ淡路のほうで25名、合計40名の従業員でお客様の利用にあつた人員配置を行っております。

○廣内孝次委員長 わかりました。

私のほうからは概要説明をしていただいて、委員の皆様方に細かい質問をしていただくということでいきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

何か質疑ございますか。

印部委員。

○印部久信委員 きょうは御苦労さんです。

まずお聞きしたいんですが、名は体をあらわすという言葉があるわけですね。このサンマックスプロジェクトというこの社名なんですが、これは一体どのような意味があるのか、それとどういう会社の意思を持って命名されたのか、ちょっとこの辺から説明いただけますか。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） サンマックスプロジェクト、実はこれは我々会社を発足するときに勤務しておりましたサンライズ淡路のサン、太陽という意味もありますが、サンライズ淡路のサン、それからはっきり申し上げまして、会社設立、不景気な状況に入ってきておりました。その中でも一生懸命やらないかんというふうな中でマックス、全開というふうな意味合いもとりました。プロジェクト、企画、あるいは立案、サンライズで働いていた者が一生懸命企画・立案しながら、ここを盛り上げていこう、会社を盛り上げていこうというふうな希望と意味合いを持って命名した会社です。

○廣内孝次委員長 印部委員。

○印部久信委員 はい、わかりました。

この会社なんですが、設立した時期はいつになりますか。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） 設立は平成20年の11月でございます。

○廣内孝次委員長 印部委員。

○印部久信委員 資本金は、先ほど言いましたように510万円ということなんですが、株主さんは何人おられますか。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） 当初、株主は私を含めて4名でありました。職員が株主という形にもなっていた事情で、1名が今、退職いたしました。現在3名の株主というふうな形になっています。

○廣内孝次委員長 印部委員。

○印部久信委員 当初4名で設立されたということなのですが、510万円の出資割合ですね、名前は結構ですので4人でどんなような出資割合になっていますか。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） 金額だけ申し上げます。260万円、100万円、100万円、50万円。
以上です。

○廣内孝次委員長 印部委員。

○印部久信委員 1人がドロップしたということなのですが、この場合、この1人がドロップされた場合は何ぼの比率の人か、それはともかくとしまして、この場合は出資金は会社が買い取ったわけですか。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） 出資金は返金といいますか、そのものの株を買い取るというような形にはなるんですが、会社では行いません。私どもの会社のほうに残っている株主のほうで買い取りました。

○廣内孝次委員長 印部委員。

○印部久信委員 ということは3人がドロップした人の出資金を補てんしたということだと思いますね。

それと、この会社はあれですか、いわゆるサンライズとサイクリングの会社を運営しとるとのことなのですが、事業としてはこれだけなんですか、ほかにも何かこの会社は事業をされておるんですか。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） 現在のところサンライズ淡路とゆずるは荘の管理運営・経営を行わせていただいております。質問の中でほかの事業をというふうなことでございましたが、現在は行っておりません。

○廣内孝次委員長 印部委員。

○印部久信委員 販売費とか一般管理費を今ちょっとずっと見させてもうとったんですが、全部が全部ちょっと今すぐに取り取れてないんですが、この会社の場合は、今言われたように、正職、臨時、パート等で両方の施設を40人規模で運営されておるといことなんですが、いわゆる雇用保険とか社会保険、あるいは厚生年金ですね、こういうたぐいはどの程度の職員までが掛けていますか。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） もちろん正職員は掛けております。それから臨時職員でありながらにして常勤である者、月何日以上等々の取り決めのある者につきましては、その規約に従い雇用保険、あるいは厚生年金等に加入しております。

○廣内孝次委員長 印部委員。

○印部久信委員 続けてよろしいですか、もし何だったらほかの委員さんに聞いてもらってから、ちょっと会社の概要はこれでいいんで、あとまた違うことを聞きたいんですが、もしほかの委員さんにちょっと聞いてもらって、その後また続けさせてもらいたいと思います。

○廣内孝次委員長 ほかに何か質疑ございますか。
特にないようですので、印部委員、続けてお願いします。

○印部久信委員 この契約書とかいろんなもんを見ておられますと、特にサンライズの場合、テニスコートとか体育館等の指定管理されておるわけですが、あの広大なグラウンドとか、そういうたぐいのものの管理は市のほうから補助金をもらって管理しておるのか、それとも運営経費の中で管理費は捻出されておるんですか、どちらですか。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） ふれあい公園という広大な12.5ヘクタールある公園がございます。その分につきまして、一昨年でございましたか、サッカー場も含めて新しく新設していただきました。その辺も含めて年間1,500万円という金額を市のほうからお預かりさせていただいて、その部分についての管理に充てております。

○廣内孝次委員長 印部委員。

○印部久信委員 今言われた1,500万円、市からそれぞれの指定管理を受けてないグラウンド、あるいはグラウンドゴルフ場とか、そういうのはやっておるということなんですが、これがいわゆるこの損益計算書の中の受託料収入の1,500万円というのはこれですか。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） はい、そうです。

○廣内孝次委員長 印部委員。

○印部久信委員 この1,500万円なんですが、これで実際その施設維持がお金、料金足りていますか。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） 1,500万円というのは試算どおりの形の管理であれば足りるというところでございます。

○廣内孝次委員長 印部委員。

○印部久信委員 もうちょっとこのことについて詳しく聞きたいんですが、これの1,500万円の用途ですね、これは恐らく人件費等が圧倒的だと思うんですが、これに対する備品、あるいは農薬、消毒薬それぞれかかっておると思うんですが、これを維持管理するための雇用は、いわゆるサンライズの中で雇用されている臨時の方とか、それらの方々にやってもらっているのか、あえて会社がこのために別の人を雇用してお願いしておるん

ですか、どちらですか。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） ふれあい公園専属の勤務者を1名常勤させております。シーズンによっては管理が1人では間に合わないという期間もあつたりしますので、そういった場合には2名に追加したり、あるいは人的なところで申し上げますと、人的除草であつたりとか、人手の要する部分については、シルバー人材センターに委託したりとかというふうな方法をとっております。それから農薬であるとか、そういった薬品類については、すべてその費用の中から捻出をさせていただいております。

○廣内孝次委員長 印部委員。

○印部久信委員 これはそしたらこの1,500万円というのはサンライズが主であると思うんですが、サイクリングも結構周辺の維持管理がかかるようにも思うんですが、それらの経費はサンライズの中ではいわゆる売り上げの中から経費として支払われているんですか、それとも市から何らかの形で環境整備とか施設維持管理費とかいうお金が出てるんですか、どちらですか。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） サンライズ淡路の部分で申し上げますと、先ほどの1,500万円以外、サンライズ淡路のほうで収益を上げれる施設という形、宿泊施設であるとか、体育館とか、テニスコート、グラウンド、お客様の利用があつてお金をいただける施設という考え方の中から、その部分については管理費はいただいておりません。ゆずるは荘につきましても全くいただいておりません。

○廣内孝次委員長 印部委員。

○印部久信委員 ということは、ゆずるは荘も周辺結構広いように思うんですが、それらの整備等は営業の売り上げの中から支払っておるというように理解していいんですか。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） 業者に委託等々する場合はそのような方法になります。安易な

といいますか、我々の手でできる範囲であれば、我々の手でという形の考え方で行っております。

○廣内孝次委員長 印部委員。

○印部久信委員 この決算書を今見たんでちょっと精査してみないとわからんですが、これだけの売り上げがあって経常利益が三角の1,400万円何がしが出ておるんですが、中野さん自身、何が原因でこういう決算になったというふうに思っていますか。我々の場合は、見たときにこれだけ結構売り上げがあるのに赤字決算をするということは、人件費が高くついておるのか、それとも材料費が高くついているのか、あるいは反対に利用料金が安いのか、いろいろ私自身も考えるんですが、中野さん自身は何が原因かなというふうに思われていますか。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） まず、収入の部でございますが、今まで私のほうも20数年サンライズのほうで営業を行ってまいりました。支配人という立場で15年ほどおりました。その中でやはり毎年の利用者の減というのがかなり響いてきているのが現実でございます。ただ、収入が減ってるという中で、今度、出のほうになるんですが、今おっしゃられた固定費的なもの、人件費もそうですし、委託料的なものも必ず必要になってくるという部分、この部分がやはりパーセンテージ的にも大きいんじゃないかなという判断をしております。

○廣内孝次委員長 印部委員。

○印部久信委員 この21年、22年の決算はこういうことになって、これはもうなった決算はそれでやむを得んと思うんですが、23年度、もう既に3カ月が終わろうとしているんですが、主としてどのようなことに重きを置いて経営をされていこうと思っておるんですか。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） 実は今、資料でお渡ししている部分もあろうかと思えます。売り上げ増進活動による収益を増加させる方法ということで、現在5項目について実施をしている最中でございます。

まず1つは、宿泊受け入れの実施、やっぱり団体客が大事だろうなど。もちろん御家族

連れのお客様も大事なんですが、収益性のある、あるいは定員に対する利用率であるとか、そういったところを考えますと団体の利用というのが非常にメリットがあるなというふうな考え方をしておりまして、ただ、団体、団体と言いましてもいろんな各種団体がありまして、総体的にということとはなかなか難しい。その中で農業視察、淡路島のほうに結構農業視察が来られているという情報を得ました。こういった農業視察の問い合わせのある団体を私どもサイクリングターミナルのほうに御紹介いただいて、直接団体と話をし、視察の受け入れの可能な協力団体と交渉して宿泊に関して御利用いただくというふうなセットな形の部分を今、JAあわじ島の営農課のほうに問い合わせをして、そういった情報も得ておりますので、今後打ち合わせをして早期のうちにまた実施していきたいというのが1つでございます。

それから、修学旅行の宿泊誘致も、やはり淡路島にもたくさんの修学旅行の生徒が来られております。南のほうのホテル、それから西淡のほうの民宿であったりとか、いろんなところへたくさんの方が来られております。私どももサンライズとサイクリング、2つの施設を合わせますと約200名を超える宿泊のお客様を確保できるという観点から、この修学旅行についても誘致をしていきたいということで現在動いております。

それから、インターネットを活用した物品販売も今までは全く行ってなかったんですが、タマネギの販売であったりとかを行っております。それで実際にネックになっていたのが送料でございますが、いろいろと交渉した結果、先月ですか、6月20日、約45%ぐらいの送料値下げということが交渉ができました。それと、もう1つは、やっぱり宿泊、飲食の中で飲食収入の増を図るという意味合いの中で、現在であればバーベキューであったりとか、ハモ料理であったりとか、秋、冬にもそれぞれの季節にあった料理の提供、またそれぞれでチラシを作成し、また営業活動にも現在回っている最中であります。

それと、利用者、特に御家族連れのお客様なんかはたくさんな情報の中から宿泊先を、あるいは食事先を決めるというふうな、現在インターネットが非常に幅広く活用されているという中で、サンライズのほうは実は2年ほど前にホームページを見直しさせていただいたんですが、ゆずるは荘のほうもホームページをもう少し変えて、今どういったイベントをやっているか、今どういった食を売り出そうとしているか、いろんな情報発信、そういったところからしないといけないということで現在ホームページの作成業者と交渉中、打ち合わせ中でございます。

以上です。

○廣内孝次委員長 印部委員。

○印部久信委員 この決算書をざっと見ていると、役員報酬、給料、手当、賃金、法定福利費で八千数百万円ぐらいのお金がかかるとるわけですが、売り上げトータル、これ

1,500万円を売り上げと見るのかどうかはともかくとしまして、売り上げが1,500万円を入れてトータル2億1,900万円のうち8,000万円ということなんですが、売り上げに対しての人件費の割合というのはこういう程度のもんですか。社長としてどうです、高すぎるかなと思いますか、それともこんな程度かなと、社長自身どんなように思っていますか。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） 人件費比率は高いと思っております。

○廣内孝次委員長 印部委員。

○印部久信委員 人件費が高いということは職員さんはそれだけのメリットをこうむってありがたいと思うんですが、それはそれとして、この指定管理、特にサンライズを指定管理されるときにプロポーザルであったと思うんですね。そのときの前年度のサンライズの売り上げが7,400万円か600万円ぐらいであったのをサンマックスはプロポーザルで1億400万円か何かの売り上げ見込みということでプロポーザルをされたと思うんですが、現実に運営してみて3,000万円ぐらいのギャップがあったかと思うんですが、この辺のことについてはどういうふうに考えていますか。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） サイクリングターミナルのゆずるは荘ですね。実はその3,000万円のラインですが、これははっきり申し上げまして私の見方の甘さ的ところがはっきり言ってありました。今までの同じ淡路島の中でサンライズ淡路という施設で20数年勤務してきた中で、規模的なことも含めてこれだけは確保できるというふうな判断をしました。ただ、1つ甘かったというよりも、それだけの内容に関して営業努力をしてきたかということになれば、そっちのほうが大きいのかなと。今後もっと営業を強く推進していかないといけないというふうな気持ちでおります。

○廣内孝次委員長 印部委員。

○印部久信委員 これ指定管理を受けて2年になるわけですが、その間、市のほうから会社のほうに対してやっぱりいろんな営業に対する支援、ノウハウの提供、助言等、それらのことがありましたか。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） 今おっしゃられた質問の中で、助言、あるいは支援、こういったことがあるよというふうなことは確かに伺いはさせていただいております。

○廣内孝次委員長 ほかに何かございませんか。
長船委員。

○長船吉博委員 このサンマックスプロジェクト、役員は何名おられますか。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） 役員は、株主という形では先ほど申し上げた現在3名でございます。

○廣内孝次委員長 長船委員。

○長船吉博委員 それと、サンライズ淡路にホームページを開設してあると。今、サイクリングのほうのホームページを立ち上げるために交渉中というんですけども、大体1カ月のアクセス数なんか見ておられますでしょうか。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） アクセス数はカウント機能をつけておりませんので申しわけございません。

○廣内孝次委員長 長船委員。

○長船吉博委員 いかにアクセス数があるかによってやはり顧客情報もとれるということなんですよね。今ちょっとこのページも見せてもらいましたけども、交際費を40万円ほど使っていますけども、実質営業されておるのは1名ないし2名ぐらいでしょうか、営業活動として。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） フロントの者を含め5名の者が営業活動はしております。外に出る、出ないは別として。

○廣内孝次委員長 長船委員。

○長船吉博委員 その営業活動の内容なんですけども、主としてどういう方面へ営業をかけておられるのかと。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） まず、合宿等々の団体客のお客様をねらいとして、大阪、京都あたりの旅行会社、エージェントへの営業活動、それから現在は進行中ではありますが、修学旅行も含めて多方面にという考え方。それと淡路島内、忘年会、新年会のお客様を確保するために、あるいはバーベキューのお客様、法事利用のお客様を確保するために淡路島内、特に洲本から南側、洲本市を含める南の淡路というふうな形の中で営業を進めております。

○廣内孝次委員長 長船委員。

○長船吉博委員 これだけサンライズもサイクリングもそうですけども、施設があって、そしていろんな形でレクリエーションを楽しめる、もう少し会社、社内のいろんなサークルがあるわけですよ、そういう方面の営業というのはどういうふうにされておられるんですか、そういうのは余り行かんのですか。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） 施設そのものの全体的なスポーツ施設も含めた形の部分での営業というのは合宿ぐらいしか出ておりません。

○廣内孝次委員長 長船委員。

○長船吉博委員 この通信費、これも結構使われているみたいなんですけども、これは1回来た方の顧客管理ですか、それとももっと幅広く各学校とか、会社とか、そういう方面へ案内書を送付しておられるのか、そこらをちょっと。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） ダイレクトメール、それから通常の送料であったりとか、通信運搬費は受信料であったりとか、電話料であったりとか、そういったものすべてを含めての金額でございます。

○廣内孝次委員長 長船委員。

○長船吉博委員 会社経営というのはやはり収支のバランスをいかにとるか、そして営業、どれだけ売り上げを上げていくか、余りにも利益を追求しすぎて、お客さんに不満を与えるというのはいかがなものかなというふうな、やっぱり顧客満足度を上げた上での接待、また施設があると思うんですけども、そこらの顧客満足度というんですけども、来たお客様方の声というのはどういうふうな。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） 特にサンライズのほうでは書類的な顧客管理はもちろんしておりますが、御利用のお客様へのアンケートの実施であるとか、それから次に御利用いただくために御利用いただいた団体のお客様への直接のセールス活動であるとか、そういった中でどういった判断をしていただけるか、あるいはいろんな意見を聞くということもできますので、そういった意見も反映しながら動くようにはしております。

○廣内孝次委員長 長船委員。

○長船吉博委員 要はリピーターとして顧客満足、対応が非常によく、また施設の衛生度もよく快適であったと、またもう一度来たいというような、そういう顧客満足度はやっぱりサービス業としては常に心がけていかないと非常に大事な点だと僕らは思っております。特に女性なんかであればトイレ、トイレは歌もヒットしましたが、トイレの神様という、やはりそこらも非常におもてなしの心が必要だと思うんです。それとやはり営業努力、やっぱりいろんな、これ今、交際費40万円ぐらい、こんな僕ら少ないと思います、実際。もっともっとエージェントへ出かけて行って、淡路の魅力、ハモでもいいし、フグでもいいし、また地魚でもええし、またそういうふうなものを一度来てください、食べてください、これ売り出したいんです。自分らのオリジナリティーな料理をお昼御飯でも来てくださいますかというふうな試みも多分されておると思うんですけども、新たな挑

戦としてももう少し営業をもっとやっぱり動かな僕はだめだと思うんです。そこら今まで一生懸命やってきておられると思うんですけども、今こんな状況下、日本の経済、また震災等々も含めた中で非常に厳しい現状であるのは事実。しかし、その中にあってもやっぱりしっかりと利益を上げているところもありますし、やはり見習うところは見習い、また努力すべきところは努力し、やっぱり必要なもんはどンドンどンドン使っていくてもええと思うんです。

当初のプロポーザルのときのように、1億500万円ですか、そこらの目標を達成し、またそういうことに達成することによって職員の方々に還元もできるんであるから、本当に職員一丸となってやはりありとあらゆる面に努力していただきたいなと思っておりますので、頑張ってくださいなと思います。

○廣内孝次委員長 阿部議長。

○阿部計一議長 私は結局長いこと議員やってますけども、指定管理したその支配人とか、当事者を呼んでこういうことをやるのは初めてです。なぜかという、先ほどもプロポーザル方式で前任者の売り上げ、それで今後この前落札された金額で3,000万円ぐらいの開きがある。これは中野さんもそれだけのメリットというか、営業というか、それだけのことはいけるというようなことで落札をされたんやと思います。そういう中で前の業者とのいきさつとか、そこらは僕らもよう知ってます。かなり無理をして落札されたんではないかと思うんです。

それで、私は、この委員会で営業努力とか、これはあなた方はプロですから、それはそれだけの営業の方法もいろいろ知ってるし、短期間に要は指定管理料が納入されてないということできょうは持っているんですよ。ですから、中野さんもその理由を端的に、先ほど印部委員さんの質問の中で、ちょっと努力が足りなかったとかいろいろ言われていましたけども、要はこれ見えていますと、役員報酬、給料、手当、賃金だけで、先ほど印部さんも言っていましたけど、8,445万1,143円ですか、私も小さい会社やってますけど、これもはっきり言って取りすぎやと思います。それでちょっと内訳をお聞きしたいんですけど、もし答えることが何だったら答えていただかなくても結構ですのでね。役員報酬661万8,000円というのは、これは給料以外なんですか。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） いえ、給料はいただいておりません。役員報酬だけです。

○廣内孝次委員長 阿部議長。

- 阿部計一議長 給料1,700万円ちょっとというのは、これは従業員。
- 廣内孝次委員長 中野さん。
- 参考人（中野充裕） 私どもの社員の給料でございます。
- 廣内孝次委員長 阿部議長。
- 阿部計一議長 それと手当の1,300万何ぼ、賃金4,600万円という、この内訳。
- 廣内孝次委員長 中野さん。
- 参考人（中野充裕） 手当につきましては、社員の諸手当、通勤手当なんかも入ります。宿直手当、それから残業手当等々すべて入ります。社員の手当とつく部分でございます。賃金につきましては、社員以外の者の月々に支払っている給料といいますか、すべての金額でございます。社員以外の者が賃金という形で計算しています。
- 廣内孝次委員長 阿部議長。
- 阿部計一議長 この手当については、例えば年末とかお盆とかに従業員に対して時間外の手当なんですか、その点どうですか。
- 廣内孝次委員長 ちょっと会社内容は余り質問されんほうがいいんじゃないかと思うんですけど。
阿部議長。
- 阿部計一議長 これ聞かなんたら何聞くんや。
- 廣内孝次委員長 内容的に細かいところを聞く、一応指定管理して民間の会社というところで。
阿部議長。
- 阿部計一議長 答えられなくても結構ですよ。無理やりに答えろ言いよんのん違う。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） 手当そのものというのは、先ほどお聞きになられた、私申し上げたとおり、職員の基本給以外の部分がすべてでございます。

○廣内孝次委員長 阿部議長。

○阿部計一議長 何か厳しいように聞こえますけど、やっぱり我々市の議員というのは、二元代表制でそういうチェック機能をするのが1つの仕事なんですよね。それで、そういう落とされて、我々民間から見ると中野さんらがやっている仕事ははっきり言うておいしい仕事ですわ。僕らでもやってみたい気があります。これはようけおりますよ、南あわじ市には。それだけにやっぱり中野さんらを見る目もシビアやと思います。ですから、こういう指定管理料が滞納というんだったら、当然、議会として執行部を厳しく追及しますわね。ですから、参考人で呼んで、こんな指定管理を呼んだのは初めてというように、これは異例中の異例なんですよ、こういうことをやってるのはね。それだけやっぱり市民の目も厳しく、何でやというようなことできょうお呼びしたということですから、やはり人件費についても、私はそういう自分の会社経営のノウハウから見て、やはりこういう滞納している割にはちょっとのんびりしとんと違うかなと給料面ではそう思います。

私は何も会社だけ言ってるんじゃないんですよ。職員でもそうですよ。勤勉手当にしても何でもそんなもんやめてしまえと常にそういうことを言ってる私は議員ですので、見よったら、ほんまにちょっとやっぱり厳しいときは厳しいようなそういうことも考えていかなんだら、ちょっと滞納という分についても今後返却していくことは厳しいんじゃないかなと思います。

きついことを言いましたけども、ひとつ参考にしてほしいなど。

○廣内孝次委員長 それでは、暫時休憩いたします。

再開は10時5分ということをお願いします。

なお、サンライズ淡路の小西さんにつきましては、ちょっと体調不良になりましたので退席ということで御理解願います。

(休憩 午前 9時5分)

(再開 午前10時05分)

○廣内孝次委員長 再開いたします。

何か質疑ございますか。

森上委員。

○森上祐治委員 先ほど売り上げ増進活動への収益を増加させる営業計画という書類を見せていただきました。大体普通こういう計画書というのは1番から5番まであるんですけども、大体上のほうから力を入れるというか、期待度の高いという、計画の場合ですよ、大体普通そういう感じで、私が計画書を立つんだったら、そういう感じで立てるんですけども、この農業視察の宿泊云々という、まずこれをお聞きしたいんですが、というのは、これからこういう営業の分野を拡大していこうというときに、この農業視察云々について、実態について、昨年とか一昨年とか、農協、JAあたりに一番聞いたらわかると思うんです。その辺の実態をどの程度、どういうところが来て、そういうのは把握されておるんですか。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） どういった方面からどのような団体がどれだけ入ってきているかと具体的な数字はつかんでおりません。実はこれを行おうといたしましたときに、淡路島のJAのほうに視察できないかというふうな問い合わせが結構入ってきているというのがあります。その中で問い合わせしてくる団体というのは、旅行会社、エージェントを通して来てるという状況ですので、農協へ直接個人あるいは団体から問い合わせがあった場合、こちらのJAオニオン旅行センターが動いてという状況になるんだと思うんですが、そういったことができないという状況の中で、エージェント、旅行会社から直接そういった問い合わせのある部分について視察受け入れを今まで幾分かお断りしていた分がありますよという情報を得たものですから、であれば、その団体を動かそうとする旅行会社、エージェントから問い合わせがあったという情報をいただいて、なおかつ私どもに紹介していただければ、私どものほうから直接旅行会社、エージェントのほうによろしかったらいいかがですかと、こういった目的の視察でしょうかと、こういった目的に合う視察可能な受け入れ団体を紹介してというふうな形の働きかけの動きをとろうというふうな形で計画しております。

○廣内孝次委員長 森上委員。

○森上祐治委員 この視察、まず受け入れがあって、その後宿泊ということになってくるんですけども、2つ目の修学旅行の宿泊誘致ということで、先ほど中野取締役のほうから大阪、関西方面の旅行者に云々とおっしゃっていました。私も長年、学校の教員して

いまして子供たちの修学旅行を5回も6回も計画して連れて行きました。どこに行くかとか、旅行業者というよりも決めるのはやっぱり学校なんです。特に学年の担任の教師、これは責任を持って決めます。まず行き先を決める。どこに行くか。南あわじ市にはちょこちょこ来ていただいておりますと、特に大震災以降、西に向かってるといようなこともちらちら聞くんですけども、まず行き先は学校やと。旅行業者に頼んでというように話だったんで、これは全然現実の動きと違うんじゃないかという感じがいたしました。どこに行くかというときに、南あわじ市へ来ていただくときでも、まずやっぱり来ていただく見学場所とのあれがありますよね、宿泊はその次なんです。だから、その辺との連携というのはどのように考えていらっしゃいますか。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） 実はこの修学旅行の宿泊誘致というところを考えていく中で、もちろん南あわじ市内の観光施設であったりとか、あるいは今、西淡のほうで地びき網の体験をしていたりとか、そういった方面ともお話をさせていただいております。この団体受け入れの場合の地びき網であったりとか、淡路人形浄瑠璃であったりとかというのはかなり以前からこちらのほうからも声がけさせていただいておりますし、逆に先方からも、そういった団体があれば、ぜひとも淡路へ来たらこういった体験してもうたらどうやというふうなお話もいただいております。そういったところからも進めていっております。また、観光協会にも時折修学旅行で宿泊できる可能などころはないかというふうな問い合わせもあるということ聞いております。そういったときにはぜひとも紹介してくれというふうな形で、とりあえずそういった方面からでもというふうにご検討しております。

まず、先ほどの質問の中では、南あわじ市内、あるいは市外であっても視察先、あるいは体験のできるようなところ、そういったところをプログラム化して今後もっと進めていかないとけないなというふうな考えをしております。

○廣内孝次委員長 森上委員。

○森上祐治委員 特に御承知のように、修学旅行というのは子供にとっては一生に一度のことなんで、やっぱり引率する側もとにかくあらゆる情報を駆使してできるだけええところに泊ませたいというふうな、宿舎もそうです。だから、私らも一遍行ってあかんかったら、次もう二度と行けへんぞというふうなことでしょっちゅう変えましてから、次に行く人にそういう情報を流したりとか、そういうやっぱり修学旅行、これは一番、目のつけどころはええと思うんですけども、これを拡大していくのであれば、やっぱりその辺のノウハウを教育委員会なり、いろんなところに売り込むノウハウをやっぱり情報をキャ

タッチして、これから地道に動いていくということが大事なんじゃないかと。何かさつき旅行業者という、そこで話して、そこで前へ進めるんと違うかなというような印象を受けましたので、やっぱり修学旅行、子供たちに南あわじへ来ていただいて、できればサイクリングターミナルとかサンライズとかに泊まっていただくというのが、市に関連に泊まっていただくというのは我々もうれしいことやと思いますので、いろんな方面にこの辺はやっぱり動き方を十分研究されて進めていただけたらなと思います。

以上です。

○廣内孝次委員長 ほかに何か。

原口副委員長。

○原口育大副委員長 使用料の支払いについて、21年度決算については支払うことができた。22年度払えなくなったということは赤字になったということやと思うんですけども、売り上げが落ちた、管理の経費がふえた、そういう動きがあったと思うんですけども、今、手元には22年度の決算をいただいています。21年度と比較して入と出の中で特徴的な変化、これが大幅にふえたとか、減ったとか、そういうのをちょっと項目ごとで気づいたものを教えていただきたいんですけど。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） まず、ゆずるは荘のほうでございしますが、平成21年度と22年度を比較いたしましたして、収入の部では宿泊、飲食関係がやはり落ちました。しかしながら、経費の削減ということも行っていましたので収支的には同額ぐらいの赤が出ておりました。サンライズ淡路につきましては、収支は黒でございします。その中で落ち込みの部分というのは、宿泊、飲食の部分がやっぱり大きいです。

収入で落ちた分と支出で経費の削減した部分もございまして、比率的に言えば、21年度の支出金額よりも22年度の支出金額のほうが少なかったという結果が出ております。

○廣内孝次委員長 原口副委員長。

○原口育大副委員長 そしたらちょっと項目で伺いたいんですけど、修繕費、燃料費、水道料、施設使用料という形で、それぞれ修繕費が240万円余り、燃料費が580万円余り、水道料が790万円余り、施設使用料が2,000万円余り、それぞれ22年度の経費として上がっておるんですけど、これは21年度に比べてどういうふうに変化したんでしょうか。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） 今御質問のありました光熱水費関係につきましては、電気料金、水道料金はほぼ変わっておりません。水道、ガスについては、前年から比べまして約2割ぐらいの減でございます。

○廣内孝次委員長 原口副委員長。

○原口育大副委員長 修繕費では別に変化はないんですか。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） 修繕費はほぼ横ばいでございます。

○廣内孝次委員長 原口副委員長。

○原口育大副委員長 燃料費も変化はないんですか、減ってるぐらいですか。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） 燃料費は上がっております。

○廣内孝次委員長 原口副委員長。

○原口育大副委員長 水道もこの場合は温泉なんで、そしたら水道料金の広域へ移っての料金みたいな変化というのは、これは関係なかったんですか。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） サンライズ淡路の温泉とおっしゃられている部分はお風呂の一部でございます、そのほかはすべて水道水を使っております。ですから、水道の占める割合が非常に大きいです。

○廣内孝次委員長 原口副委員長。

○原口育大副委員長　　ちょっと気になったのは、最近の原油の高騰であったり、水道料の基準というか、水道料金のそういう大口の温泉とかに対する料金の値上がりとかがほかの施設ではあったもんですから、その影響がかなりあったのかなと思って聞いたんですけども、特に燃料費の高騰とか水道料金の値上げという部分での影響というのは余り問題なかったというふうに解釈していいですか。

○廣内孝次委員長　　中野さん。

○参考人（中野充裕）　　燃料費の重油であるとか、ガソリン代であるとか、そういった部分についてはかなり高騰しております。水道に関しては確かに少しアップはございましたが、使用量からすればそう開きのあるような、少しは上がっておりますが、見込める範囲内かなというふうな判断をします。

○廣内孝次委員長　　原口副委員長。

○原口育大副委員長　　そんな中で全体的に経費の削減計画も出していただいておりますけども、ちょっと見た中では、今、計画が出てきたとしたら、これはもう初年度から取り組むような内容のものが今出てきているなどという感じを受けて、例えばコスト削減で食材料の仕入れを一括するとか、何かその辺の節電の話であったり、勤務体制の見直しであったり、まず指定管理、民間に移って受けた段階で当初からやってないとおかしいようなものが今、削減計画が出ているんですけど、これは今までできてなかったと、それからある程度やっていたけど、もっとさらにやらないかんという認識なんでしょうか。

○廣内孝次委員長　　中野さん。

○参考人（中野充裕）　　今おっしゃられました経費削減計画につきまして、もちろん発足当時から、あるいは指定管理を受けた時点から行ってはおります。しかしながら、決算でこのような結果が出た以上ますますというふうな意味合いの中で計画を進めていかないといけないというふうな判断をいたしまして、もう一度見直そうというふうな考えの中で作成いたしました。

○廣内孝次委員長　　原口副委員長。

○原口育大副委員長　　当然のことやと思うんですけども、逆に言うと、お客様に対して

満足度が落ちるようなことがあると逆効果にもなりかねませんので、そこら辺しっかりと現場をよく掌握されておるとは思いますけども、お客様第一で考える中でできるだけ経費を節減するというスタンスは崩さないように頑張っていたきたいと思います。

○廣内孝次委員長 ほかに何かございませんか。
印部委員。

○印部久信委員 まず、決算書の中から聞きたいと思うんですが、この受け取り利息44万5,974円ですね、この受け取り利息、今の利息の率からいうと結構大きな数字になってきとるんですが、この受け取り利息は、これは金融機関に対する預金に対する受け取り利息ですか、それともほかに貸し付けておるところからの受け取り利息ですか。この44万5,000何がしかという利息は、仮に3%の受け取り利息であるということは1,500万円ぐらいになるわけですね。5%で900万円ということになるわけですが、金融機関の今の預金利息からいうたら元金が膨大なお金になると思うんですが、これについてちょっと説明いただけますか。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） これは預金の金利。

○廣内孝次委員長 印部委員。

○印部久信委員 預金の金利としますと、44万5,000円と言いますと1%で4,500万円の預金があるということなんですね。0.1%の金利であったら4億4,000万円の預金があるということなんですよ。このごろきょうびの預金利子から見ますと、この44万5,000円というのは元金が物すごい大きい金額になってこんとこの預金利息がこういう数字になってこんと思うんですが、いかがですか。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） すいません。経理的なものはすべて税理士のほうに渡しておりますので、再度その辺は私のほうでも気になりますので調べたいと思います。

○廣内孝次委員長 印部委員。

○印部久信委員 今言いましたように、1%の預金利息でありますと元金が4,450万円の元金がなければこれだけの受け取り利息にならんですわ。それで、厳密に言いますと、まだ預金利息には20%課税されていますから、この金額になるということだったら膨大な金額であって、これだけ仮にあるんなら、借入金を起こす必要ないようにもこれを見る限りにおいてそういうふうに思うので、一遍調べてみてくださいか。

それと、この雑収入ですね、227万円という金額なんですが、これは主として、雑収入に何ですかと聞くのもおかしいんですが、どういう種類のこれは収入ですか。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） 雑収入の一番大きな収入源は、自動販売機の手数料です。

○廣内孝次委員長 印部委員。

○印部久信委員 それから、先ほど来から言っております施設使用料の2,000万円余りのこのお金なんですが、これは会社のほうで合算で来ていますからこういうふうになっているんですが、サンライズの13%、サイクリングの15%やと思うんですが、これの立て分けをお願いできますか。2,000万円になっておる立て分け、サンライズが幾ら、サイクリングが幾らかというのはどうなっていますか。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） 申し上げます。金額のうちサンライズ淡路のほうで1,206万円です。

○廣内孝次委員長 印部委員。

○印部久信委員 ということはサイクリングが800ということですか。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） はい、そうです。815万円ですね。

○廣内孝次委員長 印部委員。

○印部久信委員 それと、もう1点お聞きしたいんですが、この借り入れ返済計画、あっちいきこっちいきして申しわけないんですが、当初の金融機関から長期借入金を平成23年3月31日現在2,667万5,000円ということなんですが、これの借り入れなんですが、立ち入ったことをお聞きしますが、これ答えにくかったら答えなくて結構だと思うんですが、3,000万円の借り入れを起こしておるんですが、これは21年度の施設使用料を払うがための借入金なんですか、それとも事業を運営していくための運営経費の借入金なんですか、答えられるんでしたら答えていただきたいと思います。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） どちらも含まれております。

○廣内孝次委員長 印部委員。

○印部久信委員 私にとりましてはこれが最後になると思うんですが、サンライズが随契で施設使用料が13%、サイクリングがプロポーザルで15%の施設使用料ということなんですが、実際運営してみてプロポーザルした後で高い、安いコメントを求めるのは聞くほうもおかしいと思うんですが、現実に運営しておられまして、15%、13%の施設使用料はどうですか、高いですか、その点についてどのような見解をお持ちですか。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） やはり当初13%、15%というふうな形の契約というふうなところもございました。ただ、今の状況、いろんな形の経済状況等々を見ていますと今後明るい兆しは余り見えてこないのかなと。しかしながら、まだ営業で努力はもちろんできる部分がありますし、もちろんしていかないといけない。その中でもやっぱり使用料のその金額というのは、やはり私どもの会社にとっては大きな金額となっているのが事実でございます。

○廣内孝次委員長 ほかに何かございますか。
阿部議長。

○阿部計一議長 単刀直入にお聞きをいたします。気を悪くせんようにひとつよろしく
お願いします。そのために来ていただいておりますので。

先ほどの印部委員の関連にもなるんですけども、平成23年3月31日現在で2,66

7万5,000円の借入金があり、毎月35万円の返済をしておられる。それで、今、何かこれは市のほうへお支払いするための銀行での借り入れを予定されておると。これ書いてありますわね。この点についてはどうなんですか、見通しは。それをお借りして市のほうへ返却をするという段取りをされていると思うんですけど、その辺はどうなんですか。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） 実は一番最初に指定管理のお話がありましたときに指定管理の選定委員会から赤字やったらどうするんですかという逆に質問がそのとき出ました。そのときにも私お答えさせていただきました。お支払いはさせていただきます。そのための契約になろうかと思えますというふうな約束もしておりました。お支払いが今できてない状況の中、何とか短期のうちというふうな考え方をしておりますし、借り入れできるものであれば、そこで借り入れしたいなというふうな考え方をしております。一度に大きく支払う、あるいは返済で分割して何年かで払うと。とりあえず支払わないいけないものは支払わないといけないなというふうな考え方の中で動き、またこういうふうな考え方をしております。実際に動いておりますが、今現在まだ融資決定はいただいてないという状況です。

○廣内孝次委員長 阿部議長。

○阿部計一議長 やっぱり毎月35万円もの支払いを前の借り入れで支払って行って、それを今度市のほうへ支払うというのはかなり厳しいなと思うんです。そのためにきょう来ていただいたんですけど、中野さんとしてはめどはまだまだここではちょっと明言しにくいというふうに解釈してよろしいですか。

○廣内孝次委員長 中野さん。

○参考人（中野充裕） はい。

○廣内孝次委員長 ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○廣内孝次委員長 参考人の方につきましては、長時間ありがとうございました。

それでは、暫時休憩いたします。

再開は10時40分といたします。

(休憩 午前10時30分)

(再開 午前10時40分)

○廣内孝次委員長 再開いたします。

それでは、何か質疑ございましたら、何かありませんか。

長船委員。

○長船吉博委員 前回いろんな形でこの会社の実質帳簿を調べてみればというふうなことを質問させてもらったんですけども、実質されましたでしょうか。

○廣内孝次委員長 産業振興部長。

○産業振興部長（水田泰善） この間、税理士さんのほうに行って、実際向こうから来た部分でわからない部分をちょっと教えてもらいに行ったと。ただ、領収証とか、そこまで細かいところまでは見てないんですが、基本的にそういう形の中で決算書がどうなってるとかというのは聞いてきました。

○廣内孝次委員長 長船委員。

○長船吉博委員 今、税理士さんのところへ行ってお話を聞いたというふうなことなんですけども、今3,000万円の借り入れ、それに35万円返済している。それに1,700万円余りの使用料が未納で今後払わないかん。その中で今こういう改善計画が出ておるけども、実質本当にこの改善計画、また税理士さんと話を聞いた中で、今後、本当にサンマックスプロジェクトという会社がしっかりと運営していけるという判断は執行部としてされたのかどうか、そこら1回お聞きします。

○廣内孝次委員長 産業振興部長。

○産業振興部長（水田泰善） 当然、売り上げの営業計画であるとか、経費の削減計画であるとか出してもらって、今度これを見ながらほんまにそのとおりに進んでいるかどうかを確認していきたいなど。まず売り上げなりがどうしてもふえていかん以上、今、長船委員がおっしゃっておるように返済というのは非常に難しい部分が当然あると思います。できるだけ先ほどもちょっと話に出ていましたけど、売り上げを上げていただいて経費を

削減して返済金を捻出してもらおうという形になってこようと思っております。ですから、その計画をいかにそのとおりに進んでいってもらえるかというのを今後監視といいますか、確認していきたいと考えております。

○廣内孝次委員長 長船委員。

○長船吉博委員 サンマックスプロジェクトという会社は税理士さんに帳簿はほとんど丸投げなんですか、自分らである程度帳簿上のことをやっていって法人の申告するときに税理士にしてもらおう。会社の内容として会社はどこまで帳簿についてやっておるんか、そこら何とも聞いてませんか。

○廣内孝次委員長 産業振興部長。

○産業振興部長（水田泰善） 先ほど言いました税理士さんのところへ行くときに領収証等はそこへ行ってますという話を聞いたもんですから、ほとんどがそういう形の中で動いとる。ただし、先ほどおっしゃる中で、ある程度整理して漏れとるという部分はあるとは思いますが。

○廣内孝次委員長 長船委員。

○長船吉博委員 もし丸投げであれば、税理士さんは結構この会社もっと頑張らな先行き危ないなというふうなある程度の税理士さん側として判断もしますし、やっぱり税理士さんも商売ですから、未納金になったら困るんで、そこらも結構しっかりと見方を、特にそういう帳簿、会社の経営等については、税理士さんはプロですから非常に素早く読み取るんですけども、そこら税理士さんとの話し合いの中でそういうことは一切なかったですか。

○廣内孝次委員長 産業振興部長。

○産業振興部長（水田泰善） この間行った時点では、そこまでシビアにこうやこうやという話まではなかったです。

○廣内孝次委員長 長船委員。

○長船吉博委員 今、追加融資をお願いしてあるというふうには言ってありますけども、

今のこの現状、特に決算書等も含めて追加融資の場合は申告していかないかんで非常に追加融資は難しい状況下にあるのではないかなど。資産も何もないし、よっぽどすぐれた保証人であれば話は別だろうけども、難しい状況下にある中で、本当にこの会社は今から改善計画を見ておる中ではまだまだ大変前途多難というか、苦しい状況下にあると私は見ております。

そんな中で、今後、執行部として本当にチェックして行って回収できないというふうな状況下にもしなる最悪の事態を想定した中で、本当にいつそういう判断を下すかという時期が非常に難しいと思うんですけども、常にそれを念頭に置いてチェック体制をとっていかないかと。そやけど、積もり積もってくるととてもじゃないそういうより一層支払いが困難になってくる。お金借ったら金利が、利子なんてほとんど今安いですけども、金利は結構高いですから、これはもう大変な状況下になってくるのではないかなというふうに思っておるので、そこら市の今後の考え方について再度もう一度お聞きしたいなど、その点も含めた中で。

○廣内孝次委員長 産業振興部長。

○産業振興部長（水田泰善） タイムリミットではないんですが、まずこの約束にある8月末、それまでの間にほんまにどれだけの例えば宿泊予約なりをふやしてどういう活動になっていきよるかというのは、毎日というわけにはいきませんが、毎週でも行って確認をしていきたいなどは考えております。

○廣内孝次委員長 長船委員。

○長船吉博委員 今こういうふうにホームページ制作と言っていますけども、よっぽどの魅力がない限りホームページからのお客さんのアクセスというのは難しいのではないかなど。それと、アクセスカウンターもつけてないホームページ、特に客商売の場合、カウンターをつけてないような、これはもう致命的なものじゃないかなど、本当にやる気があるのかなという僕らにしては受け取れるんです。そこらしっかりとしたチェックをしていただいて不納欠損にしないためにも頑張っていたきたいなど。一応ここで終わっておきます。

○廣内孝次委員長 砂田委員。

○砂田杲洋委員 出納閉鎖のときに1,800何がしか残ったと思うんやけど、その後どうですか、今現在。

○廣内孝次委員長 産業振興部長。

○産業振興部長（水田泰善） その当時と同じです。ですから、その部分、この支払い計画の670万円の3回払いというのがその部分でございます。

○廣内孝次委員長 砂田委員。

○砂田杲洋委員 それと、この場合、市税とか滞納しておる場合は督促手数料とかついたりするんよ。携帯電話でも民間会社、督促手数料ついてくる。この場合はそんなことは適用されませんか。普通の市税やったら督促手数料がつきよと思うんやけどな。

○廣内孝次委員長 産業振興部長。

○産業振興部長（水田泰善） すいません。細かいとこの日数までは覚えてないんですけど、期間がある程度おくれていくと、そういう手続とかそういうのをあわせて督促手数料が発生していくと思います。

○廣内孝次委員長 ほかに何かございませんか。
阿部議長。

○阿部計一議長 これも最悪の事態を予想してお聞きするんですけど、これは勉強不足のこともあると思うんですが、お聞きしたいんですが、今のところそういう滞納になってますわね。それで私の予想では、これはなかなかうちへ払う分を銀行でお借りをしていくというような状況、銀行としたらなかなか出しにくいような状況であると私はそう思うんです。そうなってくると、今、滞納されている金額をなかなか支払いが不可能になってくる。例えば貸してくれたとして、これはもうだんだんだんだん泥沼の中へ入って行って、ひょっとしてバンザイというような形になったときは、これはもう指定管理して施設は市のものですわね、ですから、一切借った、今、中野さんが代表ですわね、その人が負債を負って、施設の分については、例えば銀行とか、そこらは触れないというふうに個人が破産するということだけで済むんですかね、その辺ちょっと答弁していただけますか。市の何かを持っていくとか、そんなことはないと思うけども。

○廣内孝次委員長 産業振興部長。

○産業振興部長（水田泰善） 施設の中で使う消耗品的なものとか、会社買ったものは別として、本来、市の持ち物である部分については、それは及んでこないとは思っております。当然、例えば借り入れするときに市が保証人になるとか、そういうことは別ですけど、そんなこともしてませんので、市としては、あくまで施設を貸して使用料を取るだけという考え方でおります。

○廣内孝次委員長 阿部議長。

○阿部計一議長 市の施設ですから、担保とか、そんなのは一切入れへんのは常識ですけども、市としたら、部長、今後ずっとかなり厳しい状況が続いていって支払うことが難しい、だんだんふえていく、市としたら今たまっているお金をどういうふうな形でいただくようにする予定なんですか。

○廣内孝次委員長 産業振興部長。

○産業振興部長（水田泰善） この営業計画といいますか、この中の返済計画の中にありますように、聞きよったら、一番、8月というのはやっぱりお客さんの数も多くてお金が入る時期ですと、ですから、そういうことを聞いてますので、逆にその時期が支払い計画がとれらんようであれば、それこそほんまに難しい話が出てくるのかなと。そやけど、少なくともこの時期はクリアしていかなと、そのぐらいな気持ちでいたってもらわんことにはうちとしてはハッパかけるぐらいしか今のとこないのかなとは考えております。

○廣内孝次委員長 阿部議長。

○阿部計一議長 タイムリミットというのをやっぱりある程度考えとかなんだら、ずるずるずるといく可能性もあるんやな。かなり厳しいん違うかなと思うんですけども、その辺のタイムリミットについてはどうですか、やっぱり考えていますか。

○廣内孝次委員長 産業振興部長。

○産業振興部長（水田泰善） 先ほどからも言ってますように、少なくともこの8月の末、この状況がうまく乗り越えられるかどうかが一番のものやとは思っています。

○廣内孝次委員長 阿部議長。

○阿部計一議長 部長、ちょっと甘いですよ。8月の何ぼ忙しかったってそんなにもうかるはずもないし、それはちょっと部長、判断甘いですよ。もう答弁よろしい。

○廣内孝次委員長 ほかに何かございませんか。
印部委員。

○印部久信委員 いろいろ会社の内容も聞いたんですが、この決算書を見ておりましたまず思うのに、施設使用料の受託料収入、向こう側へ施設の維持費に1,500万円支払いしていますね。これは私ども平たく考えた場合、利用料も入ってきておりの条件のもとにこの1,500万円を支払っていくというのは、それはもう当然それでええと思うんですが、利用料が入っていないのにこの1,500万円支払うというのはどういうことなんですか。これは市としても指し過ぎでやっていくという考えはまずなかったんですか。

○廣内孝次委員長 産業振興部次長。

○産業振興部次長（興津良祐） これの事業報告書は平成22年度でして、22年度は一応施設使用料は入っていますので管理料を支払った形になっております。平成23年度については、先ほど御指摘のとおり、使用料が入っておりません。ただし、施設の管理料として前期・後期1,500万円を750万円ずつ支払う形になっております。それで23年度については公園の管理ということで750万円支払っておりますけども、後期分については検討したいと思っております。

○廣内孝次委員長 印部委員。

○印部久信委員 担当部は、昨年度もこの施設使用料が5月末の出納閉鎖まで延びて支払いがあったということなんですが、担当部は、このサンマックスがこの施設使用料、また運営経費等でなかなか運営が苦しいと。3,000万円の借り入れを起こしたと。そのうちから施設使用料に全額払ったんか運営経費かはともかくとして、こういうような決算内容であったということは、この時点で執行部は知ったんですか、知らなかったんですか。

○廣内孝次委員長 産業振興部次長。

○産業振興部次長（興津良祐） この会社の借入金については確認をしておりませんでした。

○廣内孝次委員長 印部委員。

○印部久信委員 確認はしていなかったけれども、施設使用料を支払うがために借入れを起こしたんであろうということも全くわからなくても、会社が施設使用料を払ってくれたから、そのお金の原資はどこであろうが、そんなことはそれはもう別にせんさくする必要はないんですが、入ってくればそれでいいんですが、そのときにはそういうことは全く市当局は知らなかったということですか。

○廣内孝次委員長 産業振興部次長。

○産業振興部次長（興津良祐） 借入れをして施設使用料を一部支払ったという報告は受けておりませんでした。

○廣内孝次委員長 印部委員。

○印部久信委員 ということはサンマックスの会社の運営状況については全くわからんと、出納閉鎖までにおくればせながらも施設使用料が入ったから、それでよしということで、22年度も指定管理者に対して、市から、例えば私が一般質問か委員会かで言ったかと思うんですが、施設使用料を一括納入でなしに、例えば年間2,000万円要るんなら、月々150万円ずつぐらいでも支払って行って年度末に調整するというようなことは全く考えていなかったわけですか、執行部は。

○廣内孝次委員長 産業振興部次長。

○産業振興部次長（興津良祐） 平成22年度は、御指摘のとおり、そういうことは考えておりませんでした。ただ、今回の改善計画の中で8月以降については2カ月なりその使用料を支払うという1つの計画書が出てきております。そういうことで、印部委員さん、いつも御指摘のとおり、一括じゃなしにやっぱり1つは記念館のように前月の分の使用料を支払ってもらおうという形がとれたら一番ベストだなと思っております。

○廣内孝次委員長 印部委員。

○印部久信委員 それと、それならば、このたびの22年度の使用料の支払いについてですね、こういうふうに分けて670万円を支払いするという事なんですね。これは2

2年度の残額を支払うということですよ。ということは23年度も月々分割で支払うんでなしに、また23年度も一括で支払おうという考えなんですか。そしたら結局また、この借り入れ返済計画を見ていると、1年間の中で1年でこの22年度の部分を分けて支払いする。3,000万円の借り入れの返済35万円する。それで今度は来年度またその分一括で結局倍ですね、こんな入るようにも思わんですよ。後追い後追いばかりしていきよったら、こんなことでこの計画書を市はこれでよろしいと認めとんのですか。これでええと市は認めとんねんな。23年度も一括でやるということで、この計画でええんですな、市は。

○廣内孝次委員長 産業振興部長。

○産業振興部長（水田泰善） この返済計画の中ほどから23年度の使用料の支払いについてという項目の中で、先ほど次長からもありましたように、8月末からふた月ごとぐらいで返済したいという形を向こうからきています。ですから、うちもそれを信用した形の中で動いております。

○印部久信委員 そやから認めとんのか言よるねん、わしは。

○廣内孝次委員長 産業振興部長。

○産業振興部長（水田泰善） そういう形で来ていますので、これも今後検討していきたいと考えております。

○廣内孝次委員長 印部委員。

○印部久信委員 それで、一般常識的な話として、これ3,000万円まず今借り入れ起こしていますわな、これ利息が要る。東電がこのたび借り入れを起こす最優良貸付で利息が1.5か何かやったと思うんですが、1兆2,000億円の借り入れが。恐らく金融機関、わかりませんが、3から4ぐらいはもう最低の借入利息がかかると思うんです。そしたら仮に4としませんか、そしたら3,000万円ということは120万円利息要る。35万円返済しよると言いますが、元金返済は25万円、10万円は利息、元金返済は25万円、ということは年間300万円、ということは10年かかるわけです、そのまま払いよっても。そういうようになつとる。

それと、今、22年度のやつ670万円をまず払う、それと、今度の8月から2カ月に一遍ずつぐらい150万円であったら、仮に1,800万円だったら、150万円を2

カ月に一遍やったら、今度は300万円払っていく。この計画を市は、ああそれでよろしい、それでやってくださいよと言うて仮にやりよる場合において、もしこれ阿部議長も先ほどから心配しておりますように、どんどんどん雪だるまになってにっちもさっちもいかんようになったときに、最終的には市がこのお金を責任とるんですか、どこがとる。

そしたら、ぜんぜん違いますけども、バイオマスのときの業者からの負担金と今回の施設使用料というのは全く違いますけど、そのときに農業振興部は訴訟まで起こすまで言ったんです。市はこの計画について、もし入らん場合は、これはだれの責任か。訴訟起こして取るのん。取られなんだ場合、市長が責任とるのん、どっち。それともなあなあで入らなんださかいしゃあないいうて、こんな絶対通らへんで。担当部は相当しっかりやってもらわんと大変なことになるぞ。そんな甘っちょろいこと言うとして、そしたら市も困るし、指定管理されとる中野君もある意味では早いこと止めてくれたら小さいお金で済んだのに、広がってやることによって大きな莫大な金額になった場合、もっと何で早いこと止めてくれなんだという、そういうようなことも起こってくる。そやから執行部は、この計画でよし、この会社はこれでいけるという確信を持つとらんと、こんなこと認めてええんだったら、あんた方大変なことになるぞ。その覚悟はできとんのですか。そんな簡単なことばかり言うてどないすんねん。どうですか、最終責任はどないしてとるんですか。もしそんなことになったら困りますよ。困りますけれども、なったときのことを私は聞きよる。仮定の話で申しわけないけど。そのときはどうとりますか。

せめてこれを数字だけでなしに約束手形でもいただいておいたらどないですか。何らかのことを考えらんとあかんではないかと。約手いうことは、やっぱりもし支払いが落ちなかった場合、会社の存立にかかわってきますからね。こんなもん子供の約束やぞ。そんなことで南あわじ市がええ言うんなら、今から使用料でさえこんなんでもこらえてくれるんやったら、税金から固定資産、すべての税金は皆こらえてもらえるわ。それはあかんで。あとどうですか、副市長でも部長でもどっちでもええですから、執行部の答弁をお願いします。我々も議会何しよったって言われる。

○廣内孝次委員長 阿部議長。

○阿部計一議長 わざわざ参考人招致までやっとなねん。ということは、執行部だけでなしに我々も、おまえらもちゃんと呼んでやっとなやないかと、泥沼に入っていた我々も執行部の肩かついだみたいになってくるねん。そういう責任も議会にあると思うんです。ですから、これはやっぱりほんまに慎重にやっていたかかないと、私の判断ではもうあかんですわね。銀行が絶対銭出さん。それはもう私もこんなんやっとなやからようわかる。そやから、そんな設立するときに金借ってまでやるやいうこと、そんな商売の仕方はきょうびないですよ。もうむちゃくちゃなことやっとなわ。そういうこともあるんで、部

長、ほんまにきっちりした対応をしてほしい。それ言うときは、一言。

○廣内孝次委員長 答弁。

暫時休憩いたします。

(休憩 午前11時10分)

(再開 午前11時22分)

○廣内孝次委員長 それでは、再開いたします。

産業振興部長。

○産業振興部長（水田泰善） 今のお話を受けて、できるだけお金を集めてもらうという
ことで努力させていただきます。

○廣内孝次委員長 ほかに何か質疑ございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○廣内孝次委員長 ないようでございますので、本日の産業建設常任委員会は閉会とい
たします。

(閉会 午前11時23分)

委員会条例第30条の規定により、ここに署名する。

平成23年7月12日

南あわじ市議会産業建設常任委員会

委員長 廣 内 孝 次